



AA日本ニュースレター

No.191

AA日本ゼネラルサービス ホームページ紹介 <http://aaJapan.org>

検索キーワード: AA日本、AA日本ゼネラルサービス、アルコールリクス・アノニマス、AAJapan、AAJapanGeneralService

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

B類常任理事 夏井

第21回AA日本評議会(2016年2月)で「JSOのホームページをよりアクセスしやすく、わかりやすいものにする小委員会を立ち上げる」ことが常任理事会に勧告されました。当初は「まずは実務者レベルの検討を行い、必要であれば小委員会を立ち上げる」と方向付けされましたが、進捗のないまま時間が経過してしまいました。

2017年9月に担当が私、夏井に移管されました。まずは小委員会を立上げ、2017年11月、2018年2月、4月と3回の会議を開きました。その結果、次回の評議会でもプロトタイプ(今後の改良を見込んだ模型)が提示できるよう活動を進めて行くことになりました。

この紙面では運用中のホームページを紹介し一層の活用をお願いすると共に、小委員会で検討中のイメージも紹介させていただき、AAメンバーや関係者の皆さまからも、幅広くご意見を伺う機会になればと思っております。ご意見等の連絡はJSOまでお願いいたします。このような機会いただき感謝いたします。

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

～ 運用中のホームページを紹介 ～

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

JSO 新井

トップページ: まず目に止まるのは濃紺を背景にした「Alcoholics Anonymous® (of Japan)」と、ダイヤモンド富士ではないでしょうか。世界中のどなたがご覧になっても日本のAAとお分かりいただけると思います。

その下に『AA は初めてですか?』『AA メンバーへ』『援助職・プレスの方へ』『書籍・出版物』と4つのコンテンツを配置しています。それぞれの説明は後述します。

また、右上には『ENGLISH』を配置しています、クリックすると英語ミーティングを主とするAA東京インターグループや、アメリカ/カナダGSO等の連絡先とホームページアドレスを掲載しています。



そしてその下に「序文」を掲載しています。日本にある約1,000ヶ所のミーティング会場で、あるいはAAのイベントの始まりに、この「序文」が読まれます。またあるメンバーは、病院や保健所などでAAの説明をするときに「序文」を読んでもいただくとのこと。いわゆるAAの序文です。

話が逸れました。次に4つのコンテンツについてご案内します。

AA は初めてですか? :ここに掲示しているほとんどがパンフレット

『AA早分かり』からの再録です。始めに掲示しているのは、

アルコールリクス・アノニマス(AA)とは

AAとは、さまざまな職業・社会層に属している人々が、アルコールを飲まない生き方を手にし、それを続けていくために自由意志で参加している世界的な団体です。AAのメンバーになるために必要なことは、飲酒をやめたいという願いだけです。会費や料金は必要ありません。(『AA早分かり』より抜粋)

です。この後に、「メンバーやグループの数は」「外部の機関との関係は」などが続きます。

また、「アノニシティについて」「12のステップ」「12の伝統」「12の伝統(長文のもの)」「12の概念(短いかたち)」等の準備がありますので、初めての方でなくてもご活用が可能と思います。

AA メンバーへ:「各地のAAミーティング会場」と「各地のAAサービスオフィス」については、各地域のセントラルオフィスへご案内しています。「各地のイベント」は BOX-916 の「AA3ヶ月カレンダー」と同等の情報を掲示しています。また、「AAグループのための資料」からは、代議員登録用紙やグループの棚卸しワークシート、AA日本評議会議題提案用紙などがダウンロードできるようになっています。

ここ数年はJSOからグループ等にお送りしている定期情報の目次だけを掲示しており、定期情報の内容を把握するお手伝いをしています。この他にも、若干の広報資料や池袋駅からJSOまでの地図もありますのでご活用ください。

援助職・プレスの方へ: 始めに掲示しているのは、アルコールクス・アノニマスは皆様との協力を願っています。専門分野の方々との協力、それはAAがその始まりのころから目指しているものです。私たちは皆様とのコミュニケーションを深め、さらに発展できるよう、常に努めており、皆様のご意見やご提案を積極的に受とめていきたいと考えています。まだ苦しんでいるアルコールクを手助けしたいという、お互いに共通する目的をもっと効率よく達成するためにも、いっそうのコミュニケーションを願っています。

です。そして、AA日本ニューズレターが86号から現在まで、メンバーシップサーベイは1997年版から掲示されています。

また、「AA インフォメーション」や「AA～アルコールクス・アノニマス 私たちにできること」もあり、全て印刷が可能です。援助職、プレスの方だけでなく、どなたもご利用ください。

書籍・出版物: AA日本評議会で承認された約30種類の書籍と約70種類のパンフレットの出版物カタログ、価格表を掲示していますので、適時御確認ください。

以上で運用中のホームページの紹介を終わります。次に小委員会メンバーより検討中のホームページをご紹介します。前述の通り、今後、常任理事会、評議会でプロトタイプをご提示できるように準備を進めています。

～ 検討中のプロトタイプを紹介 ～

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

ホームページ小委員会

ホームページ小委員会では、先の勧告にある「アクセスしやすく、わかりやすいもの」を具体的に展開し、「メンバー以外のAAを知らない方に検索されやすいHPを」「初めてのひとのために親切なHPを」の2点に絞って検討を進めました。いままでのHPを踏襲しつつ、さらに整理拡充する形で、次のような検討がなされています。

メンバー以外のAAを知らない方に検索されやすいHPを: まず検索された際に上位でヒットされるような手立てを検討しています。上位になるためには①キーワードの文字が多く入っている②重要なHPからのリンクが多い③閲覧数が多い、が考えられます。

この中で現実的なのは①と考え、対応案として、ヘッダーだけでなく、そこそこに書籍等で使われてきたキーワードを入れることを検討しています。「アルコール依存症からの回復」「お酒の問題でひとりで悩んでいませんか」「どうやって飲まないでいるか」「自助グループ」等です。

初めてのひとのために親切なHPを: いままでよりさらにフォルダーを整理拡充して、「はじめての方へ」「支援職の方へ」「プレスの方へ」「AAメンバーへ」「AAについて」「書籍・出版物」として、閲覧した方が必要な情報に辿り着きやすくなるよう検討しています。

では、今度は、6つのコンテンツについてご案内します。

はじめての方へ: 伝統11(長文)の「AAのことを自画自賛する必要は少しもない。AAの友人たちに推奨してもらうほうがよいと私たちは考える」を活かし、AAを深く理解し支援して下さっている関係者の方による「AAをお勧めします」や、AAとミーティングについての説明を、視覚的にも分かりやすく既存の資料を利用しながら配置することを検討しています。さらに、可能な範囲でホームページ上での分かち合いという観点から、ビッグブックに掲載している回復の物語を音声で、あるいは年齢や性別や職業など様々な物語を短く文字で配置することも検討中です。

また、各地のミーティング案内は各地域のセントラルオフィスが工夫されているところです。このホームページでは日本地図の都道府県をクリックすると、各セントラルオフィスのホームページへと案内できると分かり易いという案もあります。

支援職の方へ: やはり、「AAをお勧めします」やAAとミーティングの説明。さらに、「医療保健分野」「福祉分野」「矯正・保護・司法分野」「産業保健分野」「医療看護教育分野」と分野ごとに、その分野で深くAAをご理解ご支援して下さっている関係者に執筆していただくことも検討中です。

プレスの方へ: 運用中の「AAは初めてですか?」にも配置している「アノニシティについて」や、AAとミーティングの説明、回復の物語を配置したいと考えています。また、ニューズレターやメンバーシップサーベイ等などもこちらに配置しますが、他のコンテンツからも案内できるようにも考えています。また、過去の掲載記事などもデータとして収録したり、その取り上げ方などを掲載したりできれば、ご理解が深まると考えています。

AAメンバーへ: 各地のイベントについては、イベントの実行委員会が苦勞して作っているチラシも貼り付けたいと、検討中です。

AAについて: 従来の内容を活かしつつ準備しています。

書籍・出版物: 運用中の案内に加えて、BOX-916 やニューズレターの購読申し込みを配置したいと考えています。

また、いろいろなホームページを閲覧、研究する中で、アメリカ/カナダのGSOホームページでは月刊誌等の最新号が最初の数ページだけ読めるのを発見し、小委員会メンバーで真似したいと話合ったこともありしたので、もしかしたら・・・。

以上ですが、今後もウェブデザインに詳しいなかまの力も借りながら、全体として、より視覚的にも、内容も、親しみやすいようにできればと考えています。

いろいろな分野でご協力くださるメンバーがいらっしゃいましたらお声掛けください。また、忌憚(きたん)ないご意見もお待ちしています。どうぞよろしく願いいたします。

■ 各地域より ■

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

JSOから各地域の刑務所や保護観察所等、矯正関係施設268ヶ所にBOX-916をお送りしています。

その詳細は、北海道地域は24ヶ所、東北地域は21ヶ所、関東甲信越地域は75ヶ所、中部北陸地域は36ヶ所、関西地域は32ヶ所、中四国地域は37ヶ所、九州沖縄地域は43ヶ所です。

今号から何回かに分けて、各地域から矯正関係施設への広報やメッセージについて、ご投稿いただくよう計画しています

その前に、ニューズレター179号(2016年8月20日発行)「刑事処分を受けた人の更生とAA」を再掲載いたします。

刑事処分を受けた人の更生とAA

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

法務省四国地方更生保護委員会・委員長(当時) 荒木龍彦

過去に長くいた保護観察の現場で、最も悩ましかった保護観察の対象者といえば、まず問題飲酒の人たちをあげなくてはならない。飲んでいて頃の彼らは、かたくなで、依存的で、約束が守れない。こちらを自分に際限なく関わらせておこうというのだろうか。できればいっそさじを投げてしまいたい。そう思わせる人たちがであった。ただ、そうやって私があきらめなくなった時に、もう少しやってみましょうよと言って後押ししてくれたのも、かつての問題飲酒の人たち、AAメンバーであった。メンバーの人からみた私のクライアントは、もしかしたらあまり遠くない記憶のご自分のように映っていたのかもしれない。保護観察の人をAAにつないで必ずしもうまくいくとは限らない。それでも、徐々にAAに落ち着いてきた保護観察の人たちや、フォーラムで毎年体験を述べる犯罪前歴の人たちを見ていると、一定の方向に向けられた変化の段階があるように思う。

1、まずは、こちらや周囲と親しくなるということ。気後れも警戒もない親密さを態度ににじませるようになる。慣れない様子ながら他の人と関わろうとする気持ちが見えてくる。

2、次いで礼儀正しさを言葉や態度で表現できるようになる。朴訥(ぼくとつ)一辺倒で猜疑心(さいぎしん)も強かった累犯(るいはん)の高齢(こうれい)の人も、「前を失礼します」、「ありがとうございます」といった言葉を他の人にははっきりと言っている。全般に自分の気持ちを表現することがスムーズにできるようになっている。

3、自尊の気持ちを回復していく。自身の今の回復の体験は、他の人に受け入れてもらえるものだし、ひいては他の仲間の幸せにも役立つ意味のあるものだとして徐々に確信を深めていっているようである。

4、社会の規範を守ることに熱心になる。時折、酒をやめても万引きは時々していた、あるいは無賃乗車をしていた——しかし、ある時からもうやめようと思うようになった、といった発言が飛び出す。

自分に正直に生きていきたい。そうしたとき人目を気にするようなことはもうしたくない。周囲に調和して堂々と生きていきたいなどと述べる。(AAメンバーのほとんどが万引きなどはしないことはもちろんである。)

5、そして次第に、AAのことを関係者に広報することや、今も飲酒の問題で苦しんでいる人々に自分の経験とAAのプログラムを伝えることに熱心になる。そうすることが自身の回復や成長を支えることだと確信を持っている。刑事処分の経験を持って参加する新たなメンバーたちのスポンサー(助言者、導き手)ともなって、懸命にその回復も応援している。

このようにして、酒で事件を起こした人たちも、飲まない生き方、まっとうな生き方を年々確実なものにしていっているのである。自律性、社会性、人間性といった誰であれ人として望ましい側面を、AAのプログラムの中で順々に回復し、発展させているのだと言える。概してAAの人たちは、生活に明るい楽観性を持ち、前向きである。それは先行く仲間たちの支えがあるからでもあり、その人たちから示された生き方にもよっている。

加えてこのプログラムでは、メンバーにより、自分を越えた力、ハイヤーパワーが信じられており、このこともまたその前向きさを支えている。米国生まれで誰もが何らかの「神」を信じているはずだという文化的背景を持つためであろう、そのプログラムの柱の「12のステップ」には、「神」、「自分で理解する神」が重要な位置を占める。

しかし、AA自体は宗教ではなく、何であれ「神」として信じることも強制はされない。そうでありながらも、事実として奇跡のように課題や困難を乗り越える経験を重ねるうちに、メンバーたちはAAのプログラムの中で自分の力を越えた何らかの力がハイヤーパワーとして働くのだと感じ、次第にそれを信じるようになる。それは、妄信ととらえるのではなく、健全な精神的態度と言ってよいと思う。

死に直面するほどの苦しみを味わった後にAAの仲間を得て、しばしば「アルコール依存症になってよかった」と発言するほどの変化を遂げ、心豊かな毎日を送っているメンバーの人たち。それは、変わってもらわなくてはいけない刑事処分の人たちに日々接する私たち矯正・保護の職員にとっても、心強い存在である。

中部北陸地域より

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

中部北陸地域では、8件の刑務所や保護観察所にメッセージを運んでいます。県別では愛知県で3件、静岡県で2件、三重県、岐阜県、福井県が各1件です。その中から今回は、女性刑務所へのメッセージの様子をレポートしていただきました。

女性刑務所へのメッセージ:

5年程前に女性刑務所からのメッセージ依頼をきっかけにAAメッセージを年に4回程度おこなっています。当初の教育担当者はAAに大変関心を持っておられ積極的にAAのおこなうセミナーやミーティングに参加し12ステップの理解に努めておられました。

現在は担当者が変わりましたが、新しい担当者様もさらに関心を持っていただいている良き理解者と感謝しております。

メッセージの募集について。年に4回のメッセージは不定期の為、依頼を受け取れる連絡員を決め、依頼を受けたら地域広報へ連絡し、地域広報の担当者はメッセージを募るといった仕組みをとっています。

当初、刑務所の意向でメッセージは女性に限られていました。また、メッセージは平日に行われるため、仕事を持っている女性メンバーが場合によっては休暇を取る等して、メッセージに参加できるよう工夫してきました。

現在は男性メンバーの参加も許可されており、少しメッセージが集まりやすい状況となりましたが、やはり、仕事の調整や休暇を取るなどが必要で、相変わらず苦労しています。

メッセージについて。刑務所での教育は、受刑者が飲酒の引き金になった要因を内的に外的に何があったのかを見つめ、その対処方法を考え話し合っているようです。AAは其中で、AAミーティングの形式でテーマミーティングをしています。ミーティングに参加された受刑者は、アルコールに問題を抱えて生きづらくなったと気づき始める方もいれば、自分には飲酒の問題がないと思っいる方といらっしゃる方もおり、その反応は様々です。

刑務所での教育は、何やらシーンと静まり返って私たちメッセージも緊張しますが、教官の指導や誘導がとてとても上手で、徐々に全体の雰囲気は良くなっていき、受刑者の皆さんの表情が穏やかになり、自分の話が出来るようになっていきます。この姿が大変に印象的です。

メッセージに参加すると、自分がアルコール依存症であるという後ろめたさや偏見が消え、役に立つ喜びを与えられると実感しております。ありがとうございました。

AA日本45周年記念集会によせて

* - - - * - - - * - - - * - - - * - - - * - - - * - - - * - - - *

B類常任理事 夏井

今年の7月、40周年記念集会の時に使い込んだ資料をスーツケースに押し込み、45周年記念集会実行委員会に初めて参加しました。

実行委員会のメンバーは、以前から顔見知りの仲間だけでなく、初めて会う仲間もいて、とても嬉しく思いました。

今回、企画担当理事として初めて参加しましたが、実行委員会は既に27回目を数えます。たくさんの回数を重ねた現在までに、記念集会の日程や会場、テーマ「未来へ受け渡していくもの～アルコール依存症者のお酒を飲まない生き方～」が決定し、さらに40周年記念集会に続き、2度目となる献金方式での運営も決定されました。

現段階ではプログラム委員会と広報委員会を中心に動いている様子で、私自身も40周年の時に経験させてもらった「これからは本格始動だぞ」となる、あの活気と一体性を感じてきました。

これら活動状況は、JSOから全国のグループにお送りしている定期情報に議事録等を同封してお知らせしてきましたが、今年の春過ぎから、より具体的なお願いをお送りしています。6月には記念集会のロゴとポスターのデザイン募集、7月には広報活動の経験や当日プログラムの担当の募集、そして8月には献金のお願い……。

AA日本45周年記念集会

日程： 2020年3月20日～22日
(3日間)

場所： 尼崎総合文化センター
(あましんアルカイックホール)

テーマ： 未来へ受け渡していくもの
～アルコール依存症者のお酒を飲まない生き方～

本番当日まで残すところおおよそ1年半です。ホームページの立ち上げ、予算立て、具体的なプログラムの検討、広報等、まだまだやることが山積みで、まだまだ多くの仲間たちの経験と力が必要です。

45周年記念集会の実行委員会に、全国の仲間たちが直接的にせよ、間接的にせよ、是非、ご参加、ご協力をお願い申し上げます。

今回の大阪は私自身、初めての地で、エスカレーターに乗る時は右寄り？新幹線に喫煙所？と驚きの連続でした。帰り道も同じように驚きながら、これからも関西の仲間たちだけでなく全国の仲間たちと、たくさんの分かち合いをして行きたい、と強く思ったことを覚えています。

全国の皆さま、一緒に45周年記念集会を盛り上げていきましょう！そして、実行委員会への参加をお待ちしております。

関係者の皆さまには、これからお声掛けをさせていただくことになると思います。どうぞよろしく願い申し上げます。

編集：ニューズレター編集委員会・発行：NPO法人AA日本ゼネラルサービス

〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル 3F Tel:03-3590-5377 Fax:03-3590-5419

<http://www.aajapan.org> jso-1@fol.hi-ho.ne.jp

(月～金)10:00～18:00 (土・日・祝) 休